

社会保険労務士合格体験記

札幌市 田端かがり (札幌通学コース受講・平成16年合格)

私は、二度目の受験で社労士試験に合格することができました。スコーレの平尾・平山先生、そしてテキストのお陰だと思っています。以下に私の採った学習方法を挙げますので、受験生の皆さんの参考になれば幸いです。

受講期(授業)

先生の話しを聞き漏らすまい!・・・テキスト作り

先生の言葉は、受験生にとっては一言一言が宝石のようなものです。その宝石を拾い集めテキストを宝石箱にすることが、合格するための絶対必要条件だと私は思います。もらったままのテキストは、ただの印刷物に過ぎません。先生の言葉・過去問・一問一答・プリント等、多くの書き込みをし、自分流の最強のテキストを作り上げる事こそが、最強の学習方法なのです。合格するためには、「暗記」ではなくまず「理解」することなのです。

受講期(授業～授業)

基本的には、「今日やったところは次回までに目を通す」ことができればベストと言ってよいと思います。仕事や学業の合間にやることなので、自分を追い込むことよりも、これさえできればよしとしよう、と楽な気持ちで続けることです。継続は力なり、毎日三時間は勉強するぞ!と意気込むのも結構ですが、途中でガス欠になってはもともともありません。五分や十分やっても・・・と思うかもしれませんが、やらない日を作らないこと、が大切です。

問題集の活用

問題集の活用方法は、時期によって異なります。初期から中期にかけてはテキストと照らし合わせることが大切です。問題集とテキストを行ったり来たりすることで知識の定着に繋がります。後期から直前期にかけてはとにかく解くことです。テキストと照らし合わせることは非常に時間がかかるので、特に直前期にそれをやるとリスクが大きいですから、間違った部分のみ、もしくは解説を読むだけ、に止めておいたほうがよいと思います。

一問一答 私の場合は、解答用紙をコピーして何度も解きました。小テストの前、答練の前、直前期……。本試験では正しい知識と共にスピードが要求されますので、200問を何分で解けるか毎回時間を計ってやりました。正答率のアップと時間短縮の鍵は・正しい知識はもちろんですが、問題文を早く正確に読むことです！

過去問 過去問といっても一つ一つを見れば一問一答です。しかし、決定的な違いがあります。それは五つの肢の中から正解を一つだけ選ぶという「技術」です。知識を得る・定着させることのほかに、過去問を解くことにより、出題形式に慣れるという学習を行うことになるのです。

テスト・答練

冒頭で「自分を追い込むな、楽な気持ちで」と言いましたが、テスト前は追い込みます。(笑)満点を取る気持ちでテストに臨むのです。今回はまあいっか……。と自分を許すことは合格という目標を脅かします。テスト前の集中力は普段の比ではありません。無理をしてでもテキストと問題集を反復する = 本試験前の追い込みの練習です。

オプション講習

スコアレには、ゴールデンウィークとお盆に特訓講座があります。ゴールデンウィークには「???’の部分もお盆には「そうそう！」となっている自分に出会えます。特にお盆は本試験前のおさらいが2～3日でできるので受講価値大です。

最後に

以上のようなやり方で私は合格しましたが、人の意見を参考にし自分の勉強方法を確立することが大切です。不安やプレッシャーはもちろんありました。一番避けなければいけないことは、「不安だから手当たり次第に色々な参考書や問題集に手を出す」ことです。スコアレのカバー率の高いテキストと問題集で充分合格できますので、スコアレと先生とテキストと問題集を信じとことん利用することこそが合格に繋がるのです！